

# 新たな文化的施設の建設場所について

## ■ 建設場所

### 中央公民館大ホール解体後の中央公民館跡地

#### 【理由】

要望書や具申書を踏まえ、シンボル性や土地利用条件等から検討した結果、町の文化芸術の振興及び町民の交流活動の拠点として期待できる場所であること。また、中央公民館大ホールは、建設から約50年が経過しており、老朽化による雨漏りなど大規模な修繕が余儀なくされているため、解体して跡地を活用する。

## ■ 課題と方策

### (1) 浸水想定区域における防災・減災対策の実施

建設場所を含めた町役場周辺は、概ね0.5m～3.0mの浸水想定区域に指定されています。しかし、本地域は行政機関のほか、金融機関や郵便局などが立地し、町の中心市街地となっています。また、役場庁舎や消防庁舎は防災拠点となっていることから、本地域の防災機能の維持・強化を図っていくため、町地域防災計画の改定や立地適正化計画を策定し、地域防災施設の整備など必要な防災・減災対策を講じます。

### (2) 町役場周辺のまちづくり計画の策定

町役場周辺は、近年空き店舗や未利用地が目立つなど、市街地としての活力が低下しております。そのため、国等の補助金を活用し、(仮称)新たな文化的施設の整備と併せ、周辺の歩行空間の整備や空地・空店舗等の利活用支援等を行い、地域の賑わい創出を図るため、町役場周辺のまちづくり計画を策定します。

### (3) 養鶏試験場跡地の利活用の検討

文化的施設建設用地として茨城県から取得した養鶏試験場跡地は、現在未利用地となっています。そのため貴重な地域資源として有効活用を図るため、茨城県未利用地等検討委員会にて、スポーツ施設等の利活用方策を検討します。

## ■ 建設場所の位置

